

総合的な探究の時間の第1の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

学校の教育目標

豊かな心（寛容の精神、謙虚さ、思いやり）と確かな学力を兼ね備えた次代のリーダーの育成

- (1) 6年間の継続的・計画的な教育活動を通じて、一人一人に高い志をもたせ、その実現に向けて知性と人間性を育む。
- (2) 科学教育や国際教育を推進し、体験的・探究的な学習活動の展開により、国内外で活躍するための科学的思考力や表現力を培う。
- (3) 異年齢交流を重視した学校行事や部活動、トップリーダーとの交流、ボランティア活動などを通じて、社会に貢献するリーダーとしての資質を磨く。

各学校で定める目標と育成する資質・能力

- (1) 弛まぬ学ぶ力
主体的態度、協働的態度、より深く学ぶ態度の育成
- (2) 発信力、論理力
思考力、判断力、表現力の育成
- (3) 科学的考察力
科学的な見方・考え方の育成
- (4) 創造力、探究力
言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力の育成

総合的な探究の時間の学習評価

- (1) 学び合いに積極的に参加し主体的に活動している。
- (2) 論理的で筋道立ったレポートや発表ができる。
- (3) 科学的プログラムの体験や作品作成に積極的に臨んでいる。
- (4) 生徒自身で課題を設定し解決している。

生徒の実態

- 素直な性格で、的確に物事を捉える力があり、受容性に富む生徒が多い。
- 明確な自己目標をもち、向学心や向上心の高い生徒が多い。
- 広範囲から通学しており、様々な地域性を有している。
- 部活動の加入率が高く、文武両道の確立に努力する生徒が多い。

生徒の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする生徒への指導

- ・学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮（個への支援と教育的ニーズへの対応）。
- ・生徒の発達の段階に応じた柔軟で、臨機応変な対応。
- ・面談やアンケートにより生徒理解に努め、子供たちの実態に即した指導。
- ・関係機関や外部専門家等との連携、また緊急時の支援体制の整備。

目指す生徒の姿

- 広い視野と柔軟な思考力、豊かな感性を備え、新たなものを創造（Creation）できる生徒
- さまざまな分野への好奇心や探究心にあふれ、自ら進んで真理の追求や課題の解決に挑戦（Challenge）できる生徒
- 高い目標と強い意志をもち、地域や日本、国際社会の発展に貢献（Contribution）できる生徒

各学校が定める内容（目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力）

【4年次】課題研究：興味・関心のある事柄から課題を設定し、研究を進める。

探究活動：探究課題を設定（道徳、進路）し、調査・研究を重ねて最良の解決方法を見いだす。

- ・課題研究：生徒一人一人が課題を設定し、研究を進める。
→資質・能力：(1)問題を発見する力 (2)情報を分析・活用する力 (3)論理的な思考・表現力
- ・探究課題7（道徳）：2つの設定課題について実施(10時間程度)
→資質・能力：(1)思いやりの心 (2)寛容の心 (3)主体的・協働的な態度
- ・探究課題8（進路）：大学別研究会、医学進学研究会に分かれて実施
→資質・能力：(1)情報を分析・活用する力 (2)主体的・協働的な態度 (3)問題発見・解決能力

【5年次】課題研究：発展的に課題研究を行い、最良の問題解決の方法、研究論文のまとめ方、発表の仕方を学ぶ。

探究活動：探究課題を設定（進路）し、調査・研究を重ねて最良の解決方法を見いだす。

- ・課題研究：設定した課題について、発展的に研究を重ね、最後に論文にまとめて発表する。
→資質・能力：(1)科学的な見方・論理的思考力 (2)主体的態度 (3)表現力
- ・探究課題9（進路）：大学別研究会、医学進学研究会に分かれて実施
→資質・能力：(1)主体的態度 (2)情報活用能力 (3)言語能力、表現力

【6年次】探究活動：探究課題を設定（進路）し、調査・研究を重ねて最良の解決方法を見いだす。

- ・探究課題10（進路）：大学別研究会、医学進学研究会に分かれて実施
→資質・能力：(1)主体的態度 (2)情報活用能力 (3)言語能力、表現力

学習活動、指導方法等

【4年次】

- ・先行研究を参考にして課題解決に必要な知識や技能を身に付ける。自分の研究課題を設定し、仮説や見通しを立てる。実験やアンケート等で検証を行い、プレゼンテーションソフトを用いて中間報告を行う。得られた情報や結果を分析・考察して、研究内容をまとめ、課題論文を作成する。
- ・日常生活や社会生活の中で、円滑な人間関係や信頼関係を構築する上での問題点や課題を発見・設定する。グループで多様な意見を交流させながらより良い人間関係の在り方を導き出す。
- ・自己（興味、関心、適性、能力）を見つめ、進路に関わる情報を収集・分析して、課題を見つけ、解決に向けて協働して取り組む。

【5年次】

- ・4年次の研究を元に、さらに有効な結果が得られる方法を模索し、研究を進める。最終的な内容や結果をまとめて、研究論文を作成する。さらに、プレゼンテーションソフトを用いて発表を行う。
- ・同じ進路目標をもった仲間チームをつくり、校外模試や入試問題等の分析を行う。進学希望校の志望理由書を作成し、進路実現に向けて意識を高める。

【6年次】

- ・同じ進路目標をもった仲間チームをつくり、校外模試や入試問題等の分析を行う。

指導体制（環境整備、家庭・地域との連携）

- Σソフィア・プロジェクト推進委員会（Σアカデミア、Σコミュニケーション、Σサイエンス、課題研究委員会）による企画立案、運営
- Σソフィア・プロジェクトと企画委員会（管理職、校務部長、年次主任）及び各教科主任との連携、調整、情報交換
- 少人数指導やチームティーチング等による個々に応じたきめ細やかな指導の実践、及びグループ活動や異年齢交流活動等による協働的な学びの実践
- 企業、研究機関、大学等との連携、協働による先進的な教育活動の展開
- PTAや地域社会との連携、協働による開かれた学校づくりの推進